



認 定 書

国 住 指 第 4 4 6 0 号
平成 30 年 4 月 2 日

一般社団法人日本壁装協会
代理理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0923
2. 認定をした構造方法等の名称
金属材・紙壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

金属材・紙壁紙張／基材 (準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の厚さ (mm)	4.0 \pm 0.4以下
表面化粧材の質量 (g/m ²)	605.0 \pm 60.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>金属材・紙壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ4.0\pm0.4mm以下 ・ 質量605.0\pm60.5g/m²以下 (有機質量190.0\pm19.0g/m²以下) ・ 構成： <ul style="list-style-type: none"> [1] 化粧： <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ2.0\pm0.2mm ・ 質量425.0\pm42.5g/m² (固形量) 以下 (有機質量65.0\pm6.5g/m²以下) ・ 構成：(1)～(3)の組合せとする (1) 化粧材：1)～3)のうち、いずれか一仕様、又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> 1) 合成樹脂：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①合成樹脂： <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量30.0\pm3.0g/m² (固形量) 以下 (有機質量10.0\pm1.0g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} ……0～10.0\pm1.0 (但し、ポリエステル系を含む場合は8.0\pm0.8以下、 ポリエチレン系を含む場合は5.0\pm0.5以下とする) 有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4} ……0～5.0\pm0.5 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5} ……0～30.0\pm3.0 無機質系添加剤^{※6} ……0～3.0\pm0.3 ②なし 2) 印刷インキ：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①印刷インキ： <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量30.0\pm3.0g/m² (固形量) 以下 (有機質量20.0\pm2.0g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} ……0～20.0\pm2.0 (但し、ポリエステル系を含む場合は16.0\pm1.6以下、 ポリエチレン系を含む場合は10.0\pm1.0以下とする) 有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4} ……0～5.0\pm0.5 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5} ……0～30.0\pm3.0 無機質系添加剤^{※6} ……0～3.0\pm0.3 ②なし

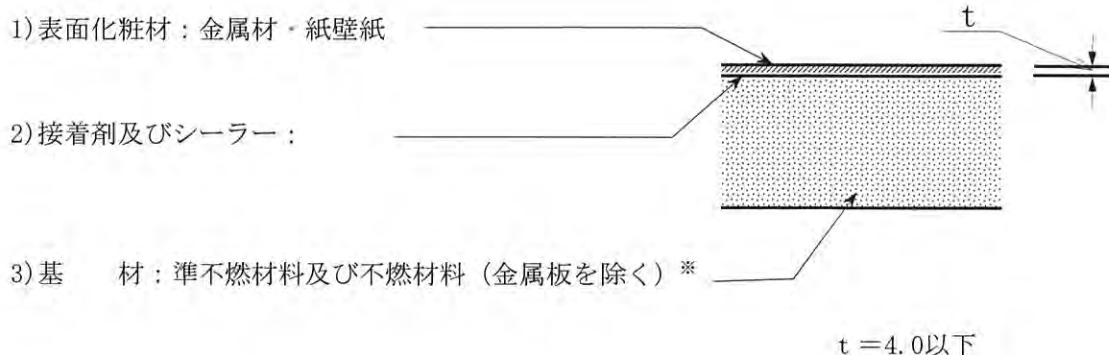
項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>3) 合成繊維：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・ 質量$140.0_{\pm 14.0}$g/m²以下 (有機質量$20.0_{\pm 2.0}$g/m²以下) ・ 構成：①～③のうち、いずれか一仕様、又は①～③の組合せとする <p>①化粧紙^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・ 質量$140.0_{\pm 14.0}$g/m²以下 (有機質量$20.0_{\pm 2.0}$g/m²以下) ・ 構成 (g/m²)： 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 有機質： a)、b)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> a) 植物系繊維^{※10} …$20.0_{\pm 2.0}$以下 b) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1} … $2.6_{\pm 0.2}$以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は$2.1_{\pm 0.2}$以下、 ポリエチレン系を含む場合は$1.3_{\pm 0.1}$以下とする) 有機繊維^{※7} …$13.0_{\pm 1.3}$以下 2) 無機質 <ul style="list-style-type: none"> 無機質系充てん材^{※5} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ <p>②化粧織物：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以上 ・ 質量$140.0_{\pm 14.0}$g/m²以下 (有機質量$20.0_{\pm 2.0}$g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 有機繊維^{※7}織物又は有機繊維^{※7}・無機繊維^{※11}混紡織物^{※13} …$140.0_{\pm 14.0}$以下 <p>③なし</p> <p>(2) 金属材^{※8}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ0.01mm以上 ・ 質量$2.0_{\pm 0.2}$g/m²～$195.0_{\pm 19.5}$g/m² <p>(3) 樹脂層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量$30.0_{\pm 3.0}$g/m² (固形量) 以下 (有機質量$15.0_{\pm 1.5}$ g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} ……$0\sim 15.0_{\pm 1.5}$ (但し、ポリエステル系を含む場合は$12.0_{\pm 1.2}$以下、 ポリエチレン系を含む場合は$7.5_{\pm 0.8}$以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5} ……$0\sim 30.0_{\pm 3.0}$ 無機質系添加剤^{※6} ……$0\sim 3.0_{\pm 0.3}$

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>[2] 主素材：紙^{※12}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ$2.0_{\pm 0.2}$mm以下 ・ 質量$180.0_{\pm 18.0}$g/m²以下 (有機質量$125.0_{\pm 12.5}$g/m²以下) ・ 構成 (g/m²)：(1) 又は (1)～(3) を組合せた仕様とする <p>(1) 有機質：1)、2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>1) 有機繊維^{※7} … $125.0_{\pm 12.5}$以下 (但し、合成樹脂繊維^{※9}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※9}$30.0_{\pm 3.0}$以下とし、かつ有機質量$100.0_{\pm 10.0}$以下とする。)</p> <p>2) 合成樹脂^{※1} … $16.8_{\pm 1.7}$以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は$13.4_{\pm 1.3}$以下、ポリエチレン系を含む場合は$8.4_{\pm 0.8}$以下とする) 有機繊維^{※7} … $89.0_{\pm 8.9}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$90.0_{\pm 9.0}$以下とする。有機繊維^{※7}として合成樹脂繊維^{※9}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂繊維^{※9}は$1.0_{\pm 0.1}$～$32.6_{\pm 3.3}$とする。)</p> </div> <p>(2) 無機質</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>{ 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5} … $0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>{ 無機質系添加剤^{※6} … $0 \sim 12.0_{\pm 1.2}$</p> </div> <p>(3) 裏面保護材：1)、2) のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>1) 裏面保護材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量$30.0_{\pm 3.0}$g/m² (固形量) 以下 (有機質量$10.0_{\pm 1.0}$g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <div style="margin-left: 20px;"> <p>{ 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} …… $0 \sim 10.0_{\pm 1.0}$ (但し、ポリエステル系を含む場合は$8.0_{\pm 0.8}$以下、 ポリエチレン系を含む場合は$5.0_{\pm 0.5}$以下とする)</p> <p>{ 有機質系添加剤^{※3}、有機質系顔料^{※4} …… $0 \sim 2.0_{\pm 0.2}$</p> <p>{ 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※5} …… $0 \sim 30.0_{\pm 3.0}$</p> <p>{ 無機質系添加剤^{※6} …… $0 \sim 3.0_{\pm 0.3}$</p> </div> <p>2) なし</p> </div>

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、ビニリデン系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、ポリエチレン系、フッ素系、ポリビニルアルコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:天然樹脂は、セラック、コカ、ワニス^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:有機質系添加剤は、防錆剤、防かび剤、有機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:有機質系顔料は、アリ^{※2}系、フクロシアニン系、縮合多環系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:無機質系充てん材、無機質系顔料は、シリカ、酸化チタン、無機質系抗菌剤、酸化鉄、酸化亜鉛、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、金属材^{※8}粉、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか又は組合せとする。</p> <p>※7:有機繊維は、植物系繊維^{※10}、合成樹脂繊維^{※9}、動物系繊維（絹・羊毛、カシミア、キャメル、アンゴラ）のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:金属材は、すず、アルミニウム、銅、亜鉛、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとし、形状は、はく状、糸状、粉状のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9:合成樹脂繊維は、ナイロン、アラミド^{※3}、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニル、アクリル、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:植物系繊維は、パルプ^{※4}、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、やし、いぐさ、麦わら、アセート、セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※11:無機繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※13:アゾ系、キノロン系の染料、又は有機質系顔料^{※4}、無機質系顔料^{※5}を含む場合がある。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ・ 質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>・ 構成: [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ 以下) ・ 組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり 80 ± 2 以上 補強剤^{※14} 20 ± 2 以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※15}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ 以下) </div> </div> <p>2) ・ 質量 $40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40 \pm 4 \text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>・ 構成: [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量 $40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{g/m}^2$ 以下) ・ 組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース 80 ± 2 以上 補強剤^{※14} 20 ± 2 以下 <p>(又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※15}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量 $10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10 \pm 1 \text{g/m}^2$ 以下) </div> </div> <p>※14: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※15: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図 (寸法単位: mm)



※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの